

新本庁舎建設 ニュースNo.19



建設工事はいよいよ最終段階へ

12月19日のしゅん工を控え、いよいよ工事は最終段階に入りました。引き続き内装、外構工事が行われています。



4階部分以外足場が外された本庁舎（11月4日撮影）



外構工事の様子（11月4日撮影）

また、現場南側の市道豊科1376号線では新本庁舎に車両が安全に進入できるよう、右折レーンの新設する工事や、西側の市道豊科1066号線でも一部区間で歩道を新設して、通学路の安全を確保する工事が始まり、それぞれの工事が順調に進むよう、工程を調整しながら進められています。

本庁舎内庁舎建設推進課

TEL71・2000（代） FAX71・5000

募集

農家民泊・農業体験受け入れ農家 都会の子どもたちに農業の大切さを感じてもらいませんか

次代を担う子どもたちに農業の大切さを感じる機会を設け、市の農業発展につなげることを目的に、「農家民泊・農業体験」の受け入れ先となる農家を募集します。説明会を下記の日程で行いますので、農家の皆さんはご参加ください。

この事業では、都会の子どもたちが農家に宿泊し、農家の皆さんと一緒に農作業や生活をします。

受け入れ方法

- ①**農業体験等** 宿泊または日帰りで、受け入れ先の事情に合わせます。
②**対象** 主に都市部の中学生（1泊2日の教育体験旅行の一環）

●説明会日程

日 時	会 場
12月8日（月）午後2時～	豊科支所第2会議室
8日（月）午後6時～	三郷支所第4会議室
9日（火）午後2時～	穂高支所西くるりん広場南会議室

※事前申し込み必要。都合のよい会場にお出掛けください。

※各会場とも時間は約60分の予定です。

問 農政課マーケティング係（TEL77・3111（代） FAX77・6060）



【農家民泊の例】

友好都市東京都武蔵野市では、同市のセカンドスクール事業の一環として同市第五・六中学校の生徒の皆さんが、毎年、市内の農家に宿泊し農家民泊体験をしています。

市政トピックス

■筑北地域と結ぶ 新矢越トンネル着工

明科潮沢地区矢越と筑北村滝上峠とを結ぶ国道403号の新矢越バイパスの主要事業となる新矢越トンネル（仮称）の建設工事が始まり、安全祈願祭が10月14日、潮沢公民館で行われました。

当日は、発注者の県松本建設事務所をはじめ、市も加盟する国道403号（千曲安曇野間）道路整備促進期成同盟会を構成



あいさつをする宮澤市長

する沿線自治体の関係者など約60人が出席しました。

宮澤市長はあいさつで「新トンネルの開通が地域住民の安全・安心な暮らしを支え、市と筑北地域の交流がますます進むよう期待します」と話しました。国道403号は、中信と東北信を結び、古くから安曇野・筑北両地域の経済・産業・文化の発展を支えてきました。また、

県の震災対策緊急輸送路に指定されるなど、重要な役割を担っています。現在の矢越―滝上峠間は急カーブが続く、道幅が狭い上、落石や危険箇所が多く、市など沿線自治体では、バイパス整備などを要望してきました。新しいトンネルは延長1043メートル、車道幅員6・5メートルで平成29年3月に完成する予定です。

■市長と語る会始まる

市内5地域で、市長と市民の皆さんが直接語り合う市政懇談会「市長と語る会」が10月25日、穂高支所で始まりました。

このほか同日堀金支所で、26日には明科公民館でも行われ、3会場で延べ308人が参加しました。懇談会では、保育料の軽減や通学路の整備などの福祉・教育分野をはじめ、松くい虫や有害鳥獣対策などの生活環

境分野、あるいは観光振興ビジョンなど地域の課題やこれからの安曇野のまちづくりについて、積極的な意見交換がされました。

なお、この懇談会は11月29日には豊科・三郷の2会場でも行われますのでお出掛けください。また、各会場の様子はあづみ野テレビで放映されるほか、概要を市ホームページで公開する予定です。



幅広い分野の意見交換がされた（10月26日明科公民館）

市長と語る会（11月29日）

場 所	時 間
豊科交流学習センター「きぼう」多目的交流ホール	午前10時から
三郷公民館講堂	午後1時30分から
※各会場とも時間は約90分、手話通訳があります。	

放映日程

会 場	放 映 日	会 場	放 映 日
穂 高	12月6日（土）	豊 科	1月31日（土）
堀 金	12月13日（土）	三 郷	2月7日（土）
明 科	1月17日（土）		

放映開始時間は午前10時、午後6時ほか